



## 2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月13日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2437 URL <https://www.shinwa-wise.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 岡崎 奈美子 TEL 03-5537-8024  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	397	△31.9	△154	—	△148	—	△173	—
2023年5月期第1四半期	584	50.4	17	△22.7	22	13.2	5	69.3

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 △171百万円 (—%) 2023年5月期第1四半期 10百万円 (△89.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	△17.25	—
2023年5月期第1四半期	0.61	0.55

(注) 2024年5月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	4,013	3,410	84.6
2023年5月期	5,054	3,555	70.0

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 3,396百万円 2023年5月期 3,540百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	7.00	—	5.50～7.50	12.50～14.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,169	14.3	617	13.5	637	10.6	410	9.7	40.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期1Q	10,138,818株	2023年5月期	10,066,518株
② 期末自己株式数	2024年5月期1Q	ー株	2023年5月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年5月期1Q	10,084,593株	2023年5月期1Q	9,678,583株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年6月1日～2023年8月31日)における世界経済におきましては、2023年は金融引き締め政策の累積的効果により世界的に景気への下押し圧力が続く見込みとなっておりますが、2024年には各国中央銀行が利下げを行うとの予測もあり、経済成長は徐々に上向くとの観測がされております。しかしながら、中国における不動産関連のデフォルト問題が世界経済に与えるインパクトなど先行きは予断が許されない状況にあります。このような世界情勢の中、わが国の経済は、原材料価格高騰の価格転嫁により、インフレ率の上昇を招いておりますが、価格転嫁は収束傾向にあります。これを踏まえた日銀の長期金利緩和策は、インフレ基調へ与える影響は少ないとみられており、現物資産の需要への増加傾向は依然と継続しております。

そのような状況の中、当社事業の季節性として、毎年8月は富裕層が夏期休暇取得のため、オークションを開催せず、それをカバーするため、プライベートセールを推進してまいりました。当第一四半期は、前期のように期ずれで開催されたオークションがないだけでなく、プライベートセールの成立がずれ込んだこともあり、アート関連事業において、取扱高は956,919千円(前年同期間比37.5%減)、売上高は388,909千円(前年同期間比27.4%減)と減収となりました。中でもオークション事業は、前年同期分と比し、34.4%減の147,660千円となりました。

第33期第4四半期から業務を開始したEdoverse株式会社は、当初計画通り本年12月に仮想空間EDOVERSEの正式リリースに向けて、コンサルティング業務を積極的に推進しております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①アート関連事業

当第1四半期連結累計期間は、取扱高956,919千円（前年同期間比37.5%減）、売上高388,909千円（前年同期間比27.4%減）、セグメント損失103,086千円（前年同期間は46,962千円のセグメント利益）となりました。  
種別の業績は次のとおりです。

種別	第35期第1四半期連結累計期間							
	自 2023年6月1日 至 2023年8月31日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	86,450	△79.1	16,822	△77.5	1	27	25	92.6
近代陶芸オークション	116,970	△29.9	20,657	△23.8	1	203	172	84.7
近代美術PartⅡオークション	15,845	△43.0	3,149	△41.4	1	107	106	99.1
コンテンポラリーアートオークション	53,160	△60.6	10,305	△59.3	1	34	32	94.1
ワイン・リカーオークション (注)1	198,680	143.7	44,067	140.5	1	495	449	90.7
ジュエリー&ウォッチオークション (注)2	-	-	-	-	-	-	-	-
その他オークション (注)3	-	-	-	-	-	-	-	-
アイアートオークション	233,035	△22.3	52,658	△27.0	1	397	314	79.1
オークション事業合計	704,140	△38.0	147,660	△34.4	6	1,263	1,098	86.9
プライベートセール	252,253	△20.5	234,077	△15.0				
その他	526	△99.3	7,172	△79.4				
プライベートセール・ その他事業合計	252,779	△35.9	241,249	△22.2				
アート関連事業合計	956,919	△37.5	388,909	△27.4				

(注) 1. ワイン・リカーオークションは取扱高の増加により、その他オークションから独立したセグメントとして表示しております。

2. 当第1四半期でのオークション開催はございませんでしたが、本年10月に開催を予定しており、予定取扱高から別カテゴリーとして表示しております。

3. その他オークションは、出品の状況により随時開催いたします。

4. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

5. 前年同期は近代美術オークション、コンテンポラリーアートオークションにおいて高額作品が出品・落札されております。

## i) オークション事業

当第1四半期連結累計期間は、オークションの開催回数は6回（前年度同期開催回数7回）でした。

内訳は、近代美術オークション（前年度同期は1回）、近代陶芸オークション（前年度同期は1回）、近代美術PartⅡオークション（前年度同期は1回）、コンテンポラリーアートオークション（前年度同期は1回）、ワイ

ン・リカーオークション(前年度同期は1回)及びアイアートオークション(前年度同期は1回)を各1回です。

近代美術オークションは、前年比で出品点数78.7%減、落札点数76.4%減となりましたが、例年に比し高額出品の減少があるものの、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、148.1%と高水準となりました。

近代陶芸オークションは、出品点数12.2%増、落札点数16.2%増となりました。エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、116.0%と高水準で推移しましたが、高額品の出品が例年と比べて少なく平均落札単価は40.0%減となりました。

近代美術Part IIオークションは、出品点数42.8%減、落札点数35.0%減となりました。平均落札単価は13.1%減少し、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は、183.0%と高水準となりました。

コンテンポラリーアートオークションは、出品点数54.1%減、落札点数46.7%減となりました。平均落札単価は26.2%と減少し、エスティメイト下限価額合計額に対する落札価額合計額の比率は107.5%となりました。

ワイン・リカーオークションは、出品点数56.2%増、落札点数44.8%増となり、平均落札単価は67.6%増加し、取扱高198,680千円、売上高44,067千円と前年同期140.5%増の結果となりました。

アイアートオークションは、出品点数152.9%増、落札点数190.7%増となりました。高額品の出品が昨年と比べて減少し平均落札単価は60.4%減となりました。

当社事業の季節性として、毎年8月は富裕層が夏期休暇取得のため、オークションを開催せず、それをカバーするため、プライベートセールを推進してまいりました。当第一四半期は、前期のように期ずれで開催されたオークションがないだけでなく、プライベートセールの成立がずれ込んだこともあり、経常利益ベースで黒字を確保することが困難な状況でありました。そのような中でワインオークションは出品、落札ともに堅調な結果となりました。また、オークションの CATEGORY を拡充、高額商品の取扱い及びプライベートセールの拡大を図るべく、海外市場での取引展開に向けて、チームを編成するなど体制構築に努めました。

## ii) プライベートセール・その他事業

プライベートセール・その他事業では、当第一四半期は、資産防衛ダイヤモンドの販売事業は、引き続き現物資産の需要が堅調なため、前年同期間とほぼ変わらず、売上高187,838千円(前年同期比1.3%減)となりました。

結果として、プライベートセール・その他事業は、前年比で取扱高35.9%減、売上高22.2%減となりました。

## ②その他事業

子会社保有の太陽光発電施設による売電事業とマレーシアにおけるPKS事業は事業継続しており、当第一四半期連結累計期間のその他事業のセグメント売上高は8,785千円(前年同期間比82.1%減)、セグメント損失4,365千円(前年同期間は6,590千円のセグメント利益)となりました。

以上により、当第一四半期連結累計期間の業績は、売上高397,695千円(前年同期間比31.9%減)、営業損失154,396千円(前年同期間は17,144千円の営業利益)、経常損失148,529千円(前年同期間は22,306千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失173,996千円(前年同期間は5,858千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、4,013,083千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,041,648千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少1,036,966千円、オークション未収入金の減少250,607千円、流動資産その他の増加108,290千円、前渡金の増加104,510千円、商品の増加103,997千円によるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、602,852千円となり、前連結会計年度末に比べ、896,823千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少388,858千円、買掛金の減少239,759千円及び未払法人税等の減少166,265千円によるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,410,231千円となり、前連結会計年度末に比べ、144,825千円減少いたしました。その主な内訳は、利益剰余金の減少173,996千円、資本金の増加13,990千円、資本剰余金の増加13,990千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

- ・2023年7月14日に発表いたしました連結業績予想について変更はありません。なお、配当予想を修正しております。詳細については、本日(2023年10月13日)公表いたしました「配当予想の修正(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。
- ・第33期第4四半期から業務を開始したEdoverse株式会社は、当初計画通り本年12月に仮想空間EDOVERSEの正式リリースに向けて、コンサルティング業務を積極的に推進しております。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,273,123	1,236,157
売掛金	50,729	12,880
オークション未収入金	261,379	10,771
商品	1,242,794	1,346,791
前渡金	3,425	107,935
その他	106,397	214,688
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,937,848	2,929,223
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,712	25,508
機械装置及び運搬具(純額)	14,260	17,419
土地	12,900	12,900
その他(純額)	25,110	25,443
有形固定資産合計	79,983	81,271
無形固定資産		
のれん	659,793	643,700
ソフトウェア	17,864	15,620
無形固定資産合計	677,657	659,321
投資その他の資産		
関係会社株式	60,600	60,600
投資有価証券	26,973	47,773
繰延税金資産	169,544	150,441
その他	237,821	220,147
貸倒引当金	△135,696	△135,696
投資その他の資産合計	359,243	343,267
固定資産合計	1,116,884	1,083,860
資産合計	5,054,732	4,013,083
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	257,830	18,071
オークション未払金	467,146	78,287
1年内返済予定の長期借入金	35,308	35,548
未払法人税等	175,331	9,066
賞与引当金	34,795	18,651
その他	239,665	164,807
流動負債合計	1,210,077	324,433
固定負債		
長期借入金	238,121	229,234
退職給付に係る負債	33,239	30,997
その他	18,237	18,187
固定負債合計	289,597	278,418
負債合計	1,499,675	602,852



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,674,567	1,688,557
資本剰余金	1,395,772	1,409,762
利益剰余金	453,260	279,264
株主資本合計	3,523,600	3,377,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	16,744	18,803
その他の包括利益累計額合計	16,751	18,810
新株予約権	14,704	13,837
純資産合計	3,555,057	3,410,231
負債純資産合計	5,054,732	4,013,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	584,324	397,695
売上原価	284,665	238,760
売上総利益	299,658	158,935
販売費及び一般管理費	282,514	313,331
営業利益又は営業損失(△)	17,144	△154,396
営業外収益		
受取利息	142	322
為替差益	5,407	3,210
デリバティブ評価益	480	388
暗号資産評価益	—	1,317
その他	1,515	2,137
営業外収益合計	7,546	7,377
営業外費用		
支払利息	1,073	1,134
暗号資産評価損	1,311	—
その他	—	377
営業外費用合計	2,385	1,511
経常利益又は経常損失(△)	22,306	△148,529
特別利益		
賞与引当金戻入額	9,870	—
特別利益合計	9,870	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	32,176	△148,529
法人税、住民税及び事業税	6,226	6,363
法人税等調整額	20,091	19,103
法人税等合計	26,317	25,466
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,858	△173,996
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	5,858	△173,996

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,858	△173,996
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,161	—
為替換算調整勘定	5,484	2,058
その他の包括利益合計	4,323	2,058
四半期包括利益	10,182	△171,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,182	△171,937

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連 事業	その他事業			
売上高	535,333	48,991	584,324	—	584,324
セグメント利益	46,962	6,590	53,553	△36,408	17,144

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,408千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)	四半期連結 財務諸表計上額
	アート関連 事業	その他事業			
売上高	388,909	8,785	397,695	—	397,695
セグメント損失(△)	△103,086	△4,365	△107,452	△46,944	△154,396

(注) セグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△46,944千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

## (資本金の額の減少及び剰余金の処分)

2023年8月28日開催の当社第34回定時株主総会において、以下のとおり、資本金の額の減少と剰余金の処分を行うことが決議され、2023年10月1日に当該決議の効力が発生しました。

## 1. 資本金の額の減少及び剰余金の処分の目的

企業価値の持続可能な成長を実現するための経営戦略の一環として、事業規模に応じた適切な税制の適用により、税負担の軽減を図り、資本政策の柔軟性および機動性を確保するとともに利益剰余金の欠損を解消し、財務体質の健全化を図ることを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づく資本金の額の減少及び会社法第452条の規定に基づく剰余金の処分を行うこととしました。

## 2. 資本金の額の減少の内容

2023年8月9日現在の資本金の額1,688,557,296円のうち、1,638,557,296円を減少し、50,000,000円とし、減少する資本金の額の全額を、その他資本剰余金に振り替えました。

## 3. 資本金の額の減少の方法

払戻を行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、資本金の額を減少し、全額をその他資本剰余金へ振り替えました。

## 4. 剰余金の処分の内容

会社法第452条の規定に基づき、上記の効力が生じた後に振り替えたその他資本剰余金1,638,557,296円のうち、147,397,148円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補に充当しました。

## (1) 減少した剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 147,397,148円

## (2) 増加した剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 147,397,148円

## 5. その他の重要な事項

本件は、「純資産の部」における科目間の振り替えであり、当社の純資産の額の変動はなく、業績に与える影響はありません。